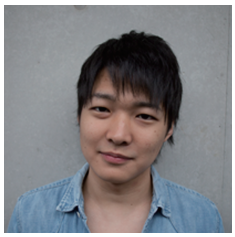


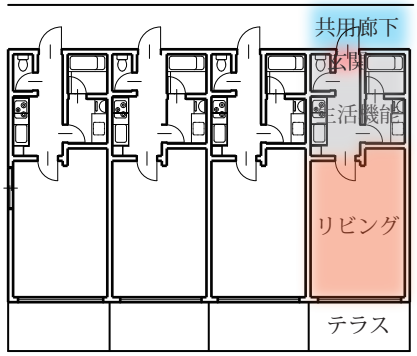
工藤　万治
建築設計計画研究室

・建築概要

敷地面積 2100㎡
建築面積 1133㎡
延床面積　SUM 1800㎡
　　1F 1133㎡
　　2F 667㎡
主要構造　木造
住所　神奈川県横浜市瀬谷区橋戸
　　3丁目
最寄り駅　相鉄線 瀬谷駅

## □コンセプト

現在の社会問題として、単身者が増加している。それは、今後も増加していくと考えられる。その一方、単身用の賃貸住宅のラインナップはどれも似た様な間取りが並んでいるだけで面白く無い。その問題点としては、玄関に入るとすぐ生活機能になっており、共用とプライベートの境界になっている。また、リビングが共用に背を向いている。そこで、現在の賃貸住宅の特徴であるただ同じ間取りが並んでいるだけのイメージを壊したい。



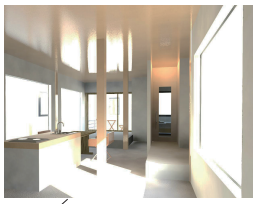

この様に、単身用住宅の同じ並びが続くイメージを壊したい。

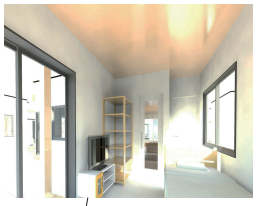
問題点

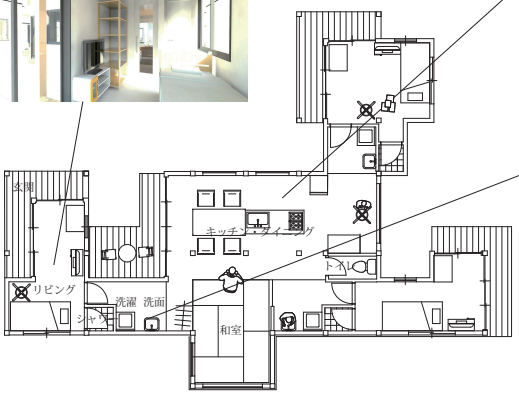
○玄関に入るとすぐ生活機能になっている
○生活機能が共用との境界になっている
○リビングが共用に背を向く様になっている
○効率を求めすぎて窓が少ない
○ 共用スペースが貧相すぎる（つまらない）

## □プログラム

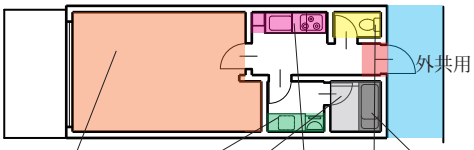
全47室で2人タイプ×10・3人タイプ×9で全体が構成されている。各ユニットの中心には共用部を設けてある。完全なプライベートスペースには【玄関 リビング シャワー】があり、その奥に共用部側に開いた【洗面 洗濯】がある。そして共用部【キッチン ダイニング トイレ 和室】へと繋がっている。この構成によって忙しい時間には生活導線は交わることがない上に、逆に1日の生活の中で自然と足が共用部に向く。





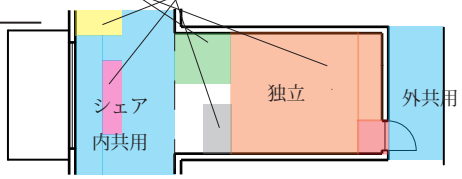


1 機能分解




2 使用頻度

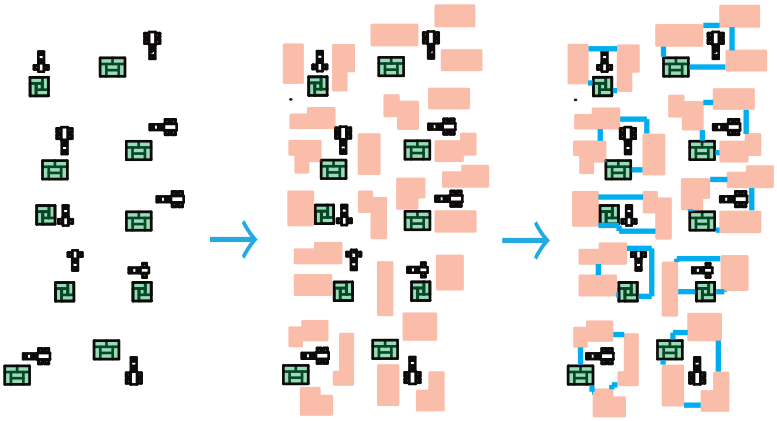
3 並び替える



## □デザイン

　このデザインは、まず敷地全体に共用部のキッチン 和室をランダムに配置する。次に共用部を囲むように各ユニットを配置していく。そして、空間を壁で仕切って造りあげた。この手法により空間の境界を曖昧にした。また、各ユニットは庭が設けてありそこから生活感が溢れ出していきコミュニケーションが生まれる。

配置

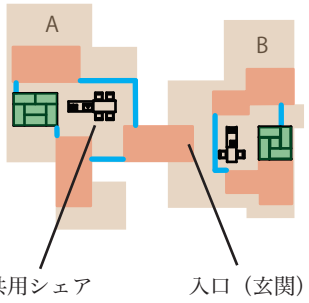


ランダムに配置する　　囲むようにして配置する　　空間を仕切る

空間の境界を曖昧にする

2F　配置

共用シェアとは違う領域から侵入させる




２F は一部のユニットが隣の領域まで侵入している。